

物質生命工学コース

	生物分野	化学分野	物理分野
	* 博士論文研究		
<p>○最先端かつ高度な専門性と深い学識 (教育目標) (学習目標) ・ 自然現象を原子・分子レベルのミクロな立場から理解し、基本的なメカニズムを幅広い視野に立って工学的に応用することができる。 ・ 遺伝子から生態に至るまでの生物科学の基礎的知識を体系的に理解し、工学的に応用することができる。 ・ 生物が関わる現象を化学の力で解き明かす知識ならびに思考力をもち、工学的に応用することができる。</p> <p>○高度な教養 (教育目標) (学習目標) ・ 豊かな人間性と社会性のための広い教養を身につけている。</p> <p>○高度な国際性 (教育目標) (学習目標) ・ 生命先端工学によって生み出された物質・技術を、高い英語力、自己表現能力により、国際科学誌への掲載、国際学会での発表などにより国際社会に発信することができる。</p> <p>○高度なデザイン力 (教育目標) (学習目標) ・ 物質科学と生命科学、情報科学を融合し、新しい先端科学の創成と、最先端バイオテクノロジーに応用することができる。 ・ 生命先端工学分野について自ら設定した課題について、研究手法をデザインし、さらに発展させることができる。</p>	<p>* 物質生命工学研究企画ゼミナール</p> <p>生命先端工学特別講義III 生命先端工学特別講義IV</p>		
	生命科学特論	物質科学特論	物性科学特論
	* 修士論文研究		
<p>○高度な教養 (教育目標) (学習目標) ・ 豊かな人間性と社会性のための広い教養を身につけている。</p>	<p>生命先端工学特別講義I 生命先端工学特別講義II 計算機化学</p>		
<p>○最先端かつ高度な専門性と深い学識 (教育目標) (学習目標) ・ 自然現象を原子・分子レベルのミクロな立場から理解し、基本的なメカニズムを幅広い視野に立って工学的に応用することができる。 ・ 遺伝子から生態に至るまでの生物科学の基礎的知識を体系的に理解し、工学的に応用することができる。 ・ 生物が関わる現象を化学の力で解き明かす知識ならびに思考力をもち、工学的に応用することができる。</p> <p>○高度な国際性 (教育目標) (学習目標) ・ 生命先端工学によって生み出された物質・技術を、高い英語力、自己表現能力により、国際科学誌への掲載、国際学会での発表などにより国際社会に発信することができる。</p> <p>○高度なデザイン力 (教育目標) (学習目標) ・ 物質科学と生命科学、情報科学を融合し、新しい先端科学の創成と、最先端バイオテクノロジーに応用することができる。 ・ 生命先端工学分野について自ら設定した課題について、研究手法をデザインし、さらに発展させることができる。</p>	<p>* 物質生命工学特別課題演習*</p> <p>* 物質生命工学ゼミナール</p> <p>工学英語I 工学英語II</p>		
	生命工学、細胞動態学、生物化学工学特論	有機電子材料科学、超分子認識化学、光化学とケミカルバイオロジー、生命機能化学、化学工学特論	物性分析工学、ナノ物性計測工学、時空間フォトニクス、光計測工学、応用表面科学、表面原子制御特論

博士後期課程 1・2・3年次

博士前期課程 2年次 1年次

*** は必修**

専門科目

高度教養教育科目

高度国際性涵養科目 (*は専門科目としても参入可能)